

第5学年2組 国語科学習指導案

指導者：千葉市立幕張小学校

岡野 有為

1 単元名 「幕張」の魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう

2 単元の目標

- 「幕張」のよさを推薦するために、進んで情報を収集しようとしたり、そのよさを整理し、推薦理由を確かなものにしようとしたりする。 (国語への関心・意欲・態度)
- 推薦する目的や相手の要求を考慮して、「幕張」の魅力を伝えるという意図に合わせて、根拠が明確になるように話の構成を工夫したり、相手が納得するような話し方をしたりすることができる。 (話す・聞く能力 ア イ)
- 話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質などに違いがあることに気付き、その特質に注意して話すことができる。 (言語についての知識・理解・技能 ア)

3 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
・「幕張」のよさを推薦するために、対象となる事物の特徴を様々な視点から挙げた上で、そのよさを整理し、推薦理由を確かなものにしようとしている。	・推薦する「幕張」のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成を工夫したりしている。 ・「幕張」のよさを推薦したい気持ちが伝わるように、話し方の工夫をしている。	・話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質などに違いがあることに気付き、その特質に注意して話している。

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元を貫く言語活動として、「『幕張』の魅力を伝えるプレゼンテーションをする」ことを位置付けた。この言語活動は、「幕張」のまちをペア学年である3年生にもっと好きになってもらうために、「幕張」の魅力を伝えるという目的をもって、おすすめの場所を1人1つ選び、推薦するものである。推薦する際には、iPadで作成したスライドを見せながらプレゼンテーションを行う。

3年生が「こんな素敵どころがあったんだ!」と思うようなプレゼンテーションにするためには、事物の特徴を深く理解して、相手が納得するような理由を選ぶことが重要となる。また、下級生にわかりやすいように話を構成したり、関心を引くような話し方をしたりすることが必要となってくる。また、iPadでスライドを作成することで、収集した情報から、目的や意図に合った写真や

言葉を選択し、内容を整理・精査したり、効果的な話し方について工夫したりすることができるだろう。iPadを使用することで、写真を簡単に提示できるだけでなく、何度でも資料を修正することができる。写真や言葉を選択する際には、推薦内容との整合性を意識させていく。推薦内容に説得力をもたせる資料となっているか、提示するタイミングはいつが最適か考えさせていく。

教科書教材『『わが町ベスト・スリー』を決めよう』では、推薦する事物を調べて、クラスで「わが町ベスト・スリー」を決める活動を東京の事例を取り上げて展開している。推薦する内容を考えるための手立てや推薦のスピーチにおいて重要なことをまとめるとともに、その要点と照応したスピーチ例を示している。学習計画を考えるとときや、自分の推薦内容をまとめるときの参考として活用していきたい。

(2) 単元で身につけたい力

本単元では、第5学年及び第6学年「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付けること。」及び「イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」を受けて設定している。

3年生に『『幕張』の魅力伝えるプレゼンテーションする』という言語活動を設定することで、児童の意欲を高めるとともに、目的意識を明確にしていきたい。また、推薦内容を決定する前に3年生へのインタビュー活動を行い、「幕張」についてどの程度わかっているのか知ることで、相手の実態を知った上で知識や収集した情報を分析し、より適したものをお勧めできるようにする。

プレゼンテーションのモデルとして、NHK for school『伝える極意』で放送した「プレゼン資料を作ろう」と「わかりやすいプレゼン」を視聴し、聞き手を納得させるための話し方について考えさせる。この番組は独立行政法人メディア教育開発センターの中川一史教授から様々な工夫を教えてもらいながら、5年生が4年生に環境問題についてプレゼンテーションする番組である。NHKのホームページで見ることができるようになっている。話す速度、強調するところ、間の取り方、目線、効果的な資料の作り方、資料の提示の仕方などの表現方法について自分たちの活動に生かせることはないか考える。わかったことは掲示物にまとめ、常に確認できるようにする。また、iPadで繰り返し必要な部分を視聴してよいものとし、プレゼンテーションの仕方について理解を深められるようにする。

推薦のスピーチ(音声表現)という抽象度の高い言語活動であるが、児童が議論を重ね、納得解を得られる学習とするために、スピーチの練習でもiPadを利用していく。iPadでは、容易に録画、一時停止、再生などの操作が行え、発表者が客観的にスピーチを振り返りながらグループの児童と話し方の工夫について話し合いを進められると考える。

これらの学習を通して、「収集した知識や情報を目的に合うように整理をし、自分の考えや根拠を明らかにしたり、そのよさが相手の印象に残るような工夫をしたりして話す力」を身につけさせたい。

(3) (1)と(2)の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

①サイコロトーク(話の構成)

本学級では、翌日の日直がサイコロを振ってテーマを決め、帰りの会で1分間スピーチをすることを4月から行っている。児童の実態に合わせた3種類のワークシートがあり、「始め・中・終わり」の文型が示されたものと「始め・中・終わり」の項目にメモをするものと、何も項目がなく、自分で考えて必要なことをメモするものなから、児童が選んでスピーチを行う。

4月のテーマは「自己紹介」や「家族紹介」に関係するものであったが、5月からは本単元の基盤作りとして、「おすすめの事物」をテーマとしている。おすすめる理由を2つ以上は挙げ、聞き手に納得してもらえるように話すことを目的としている。そのため、ワークシートにも2つ以上のおすすめの理由を書く場所を設けている。

②言葉マップづくり(語彙力)

言葉遊びを楽しみながら言葉に対する感覚を磨き、使いこなせる言葉を増やすために、10分間の朝学習の時間や授業の5分程度の時間を利用して「言葉マップづくり」に取り組んでいる。「言葉マップ」とは、ウェビングのことで、中央にお題の言葉を書き、そこからイメージされる言葉をつなげていく。つなげていく言葉は名詞に限らず、動詞、形容詞、擬音語・擬態語も使用していくこととし、つなげた言葉の数で競うことで、意欲を高めている。

この活動を始めた頃は、3分間で10個程度の言葉を書くことしかできない児童が多くいた。また、名詞ばかりを繋げている児童が多かったため、動詞や形容詞などを書いた場合には2倍の点数とし、児童が苦手とする動きや様子を表す言葉への関心を高められるようにした。活動後には、たくさんの言葉を繋げることができた児童のマップを紹介したり、ペアで見合ったりすることで、考えを広げられるようにしている。

5 単元の指導計画(全10時間)

次	時	学習活動と内容	指導や支援の手立て ◇評価
事前	時間外	○「幕張」の自慢についてウェビングをしてまとめる。	・「幕張」のまちのよさについて興味・関心を高める。
第一次	1	○「幕張」の好きなところについて3年生にインタビューしている映像を視聴する。 ○「幕張」でお薦めしたい事物について話し合う。 ・ペアにお薦めのスピーチをする。 ・お薦めされたものについて感じたことや、自分が推薦するときに難しかったことについて話し合う。	・3年生は自分たちより「幕張」について詳しくないことを知り、もっと「幕張」について知ってもらいたいという思いをもてるようにする。 ・お薦めしたいと思った理由をつけて発言するように指示する。

		<p>○単元全体の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か知る。 ・教師のプレゼンテーションを聞いたり、教材文を読んだりして見通しをもち、学習の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動のイメージをもつことができるように、教師見本のプレゼンテーション原稿やスライドを分析させる。 ◇幕張の事物をプレゼンテーションする活動に興味をもち、幕張のよさについて推薦する見通しを立てようとしている。 【関】(発言・ノート)
第2次		<p>○プレゼンテーションする事物を決めるために、3年生へ取材する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師に「幕張」のお薦めの場所を選ぶ。 ・取材の計画を立てる。 「よく行く場所」、「趣味」、「興味のあること」など 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師にお薦めの場所を選ぶ際に、選ぶための足りない情報について質問する時間を設け、相手により適しているものをお薦めし、納得させるためには相手の実態を知ることが重要だということを実感できるようにする。 ◇相手の実態を知ることにより適しているものをプレゼンテーションできることを踏まえ、取材の計画を立てている。 【話・聞 ア】(発言・ワークシート)
	時間外	○3年生に取材する。	
	3	<p>○3年生に取材したことから、プレゼンテーションする事物を決め、調べる方法を考える。</p> <p>○NHK for school『伝える極意』を視聴し、プレゼンテーションする際の構成の仕方や話し方、スライドを作成するときのポイントについて学ぶ。</p> <p>伝える極意 (原稿)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①伝える相手のことを知る ②話の流れは注目・説得・よびかけ ③文は短く声に出して確かめる <p>伝える極意 (資料)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①写真をしばり印象に残る言葉を ②見やすくするために気を配る <p>伝える極意 (話し方)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①強調したり間をあける言葉を意識したりして話す ②資料に注目を集める ③?と!を使って話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生が興味のあることやよく知らない事物を選ぶように助言する。 ◇相手の要求を考慮して、推薦する事物を決めている。 【話・聞 ア】(発言・ワークシート) ・プレゼンテーションするポイントが分かりやすいものを選ぶ。 ・NHK for schoolの『伝える極意』で学んだことをまとめて掲示し、何度でも確認できるようにする。 ◇聞き手の関心を引くための工夫や推薦の言葉の使い方に気付き、表現の効果について考えを深めている。 【話・聞 イ】(観察・ノート)

第 2 次	時間外	○お薦めしたい事物について調べる。	
	4	<p>○付箋にメモをして知らせたい情報を整理し、構成を考え、グループで話し合う。</p> <p>話の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 注目 2. 推薦理由(説得) 3. 呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋にメモすることで、構成の順番を試行錯誤できるようにする。 ・3年生が知らないと思われることや、調べてみて自分が驚いたことを中心に構成を考えるように助言する。 ・プレゼンテーションする内容をテーマごとに分け、3～4人のグループを作る。 例)「人物」、「施設」、「遺跡歴史」、「食」、「遊び場」、「自然」、等 ・自分がその構成にした理由を説明することで、考えを確かなものにし、悩んでいることを友達に相談したりするように伝える。 ・自分の考えと比べながら聞き、考えを伝えるように助言する。 <p>◇プレゼンテーションする「幕張」の事物の推薦理由を明らかにし、そのよさが伝わるように構成を工夫している。 【話・聞 イ】(メモ)</p>
	5	○メモを基にプレゼンテーション原稿を作成し、グループで話し合い、加筆修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるお薦めの言葉を書くことができるように、お薦めするときの言葉を掲示しておく。 ・音声化することが前提なので、読みやすいよう、文を短くしたり、息継ぎに合わせて改行したり、間を空けるところで行を空けたりするように助言する。 ・読みやすい文章になっているか、声に出して確認しながら書くように伝える。 ・お薦めする事物を知らない人にでも、その事物のよさがよくわかるか考え、友達に助言や感想を述べるように伝える。 ・意見が分かれる場面では、その根拠を考えさせたり、友達の意見と自分の意見を比べたりすることを通して、「自分はどんなことをお薦めしたいのか」をはっきりさせていく。 <p>◇推薦理由やよさが伝わるように、推薦語彙を使ってプレゼンテーション原稿を作成している。 【話・聞 イ】(プレゼンテーション原稿)</p>

		<p>◇話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質などに違いがあることに気付き、その特質に注意してプレゼンテーション原稿を作成している。</p> <p>【言語 ア】(プレゼンテーション原稿)</p>
6	<p>○プレゼンテーション原稿を基にiPadの スライド作成ソフト使ってプレゼン テーション資料を作成し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テンプレートを選び、写真や文字を変 えるだけで容易にスライドが作成でき る『key note』というソフトを使用す る。 ・3～6枚のスライドにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>スライド作成のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 写真は伝えたいことがわかるもの だけに絞る。 2. 印象に残る短い言葉だけ書く。 3. 見やすいスライドにするために、 使う色、文字や写真の大きさ・向 きなどに気を配る。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド作成ソフトの扱い方については事前に 指導しておく。 ・NHK for school の『伝える極意』で学んだこと をまとめて、掲示しておく。 ・NHK for school の『伝える極意』で確認した ことがある場合には、掲示物だけでなく、iPad で視聴してもよいことを伝える。 ・『伝える極意』で学んだスライド作成のポイント を基に、感想や助言を伝え合うようにする。 <p>◇収集した情報の中から、推薦理由が明確に伝わ る写真や言葉を選んで、スライドにまとめてい る。</p> <p>【話・聞 ア】(スライド)</p> <p>◇話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質など に違いがあることに気付き、その特質に注意し てスライドを作成している。</p> <p>【言語 ア】(スライド)</p>
7	<p>○プレゼンテーション原稿に話し方の工 夫を書き入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が単調にプレゼンテーション原稿 を読むことで悪い例を示し、改善する ポイントを考える。 ・話し方のポイントを基にプレゼンテ ーション原稿に工夫を書き入れる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>話し方のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 話す速さ 2. 強調したり間をあけたりする 3. 表情、ジェスチャー 4. 資料の提示方法 5. ?と!を使って話す </div> <p>○プレゼンテーションの様子をiPadで撮 影して視聴し、課題を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK for school の『伝える極意』で学んだこと をまとめて、掲示しておく。 ・教師の悪い例から気付いた改善するポイント を教師見本のプレゼンテーション原稿に書き入れ ていく。 ・NHK for school の『伝える極意』で確認した ことがある場合には、掲示物だけでなく、iPad で視聴してもよいことを伝える。 <p>◇推薦したい気持ちが伝わるように、場に応じた 適切な言葉遣いを工夫し、プレゼンテーション 原稿に書き入れている。</p> <p>【話・聞 イ】(プレゼンテーション原稿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方の工夫を書き入れた児童は、iPadでプレ ゼンテーションの様子を撮影して視聴すること で、話し方を修正したり、課題を見つけたりす る。
時間外	○プレゼンテーションの練習をする。	・プレゼンテーションの様子をiPadで撮影するこ とで、客観的に振り返れるようにする。

	8 (本時)	<p>○iPad で撮影したプレゼンテーションの映像を見ながら、より推薦するものよさが伝わるような話し方になるように、グループで話し合う。</p> <p>・助言をもとに、プレゼンテーション原稿に話し方の工夫を書き加えたり、練習したりする。</p>	<p>・どのように話せばよいのかを改めて確認し、観点をもって交流できるようにする。</p> <p>・声の強弱やスピード、身振りや視線などに注意しながら確認し、より聞き手に伝わる話し方になるよう練習する。</p> <p>◇推薦したい気持ちが伝わるように、場に応じた適切な言葉遣いについて話し合い、話し方を工夫することができる。</p> <p style="text-align: right;">【話・聞 イ】(観察・発言)</p>
	時間外	○プレゼンテーションの練習を行う。	<p>・プレゼンテーションの様子を iPad で撮影することで、客観的に振り返れるようにする。</p>
第3次	9	○3年生に「幕張」の魅力を伝えるプレゼンテーションを行う。	<p>・学習の成果を実感できるように、プレゼンテーション後に3年生から感想やよさを伝える場を設定する。</p> <p>◇前時の活動で学んだことを生かして、推薦したい気持ちが伝わるように、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p style="text-align: right;">【話・聞 イ】(観察・発言)</p>
	10	○学習の取り組みを評価し、単元を振り返る。	<p>・帰りの会の1分間スピーチで「おすすめの事物」をテーマとして行ったときと比べて、どのような力がついたか実感させる。</p> <p>◇相手が納得するような推薦をするためには、推薦理由を明確にしたり、話し方を工夫したりすることなどが必要であることを振り返っている。</p> <p style="text-align: right;">【話・聞 イ】(発言・ノート)</p>

6 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・推薦したい気持ちが伝わるように、場に応じた適切な言葉遣いについて話し合い、話し方を工夫することができる。 (話す・聞く能力 イ)

(2) 本時の学習活動

- ・iPadで撮影したプレゼンテーションの映像を見ながら、より推薦するもののよさが伝わるような話し方になるように、グループで話し合う。

(3) 本時の展開 (10時間扱いの8時間目)

学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>(1)前時までの活動を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p>	<p>○学習計画表を提示し、学習の目的とこれまでの活動でわかったことを想起できるようにする。</p> <p>○学習を主体的に行うことができるように、グループで助言し合うことで、より聞き手を納得させるようなプレゼンテーションにするという目的を確認する。</p>
<p>おすすめの気持ちがより伝わるように、話し方の工夫について考えよう。</p>	
<p>(2)話し合う内容や手順について確認する。</p>	<p>○話し合いの手順について事前に説明しておき、すぐに本時の内容に入れるようにする。</p> <p>○お薦めの気持ちが伝わる話し方のポイントについて、プレゼンテーション原稿のモデルやNHK for school『伝える極意』でわかったことをまとめたものを提示し、確認する。</p> <p>○話し合いが活発に行われるよう、形式張らずに自由に発言することを確認する。</p>
<p>2 プレゼンテーションをして、アドバイスし合う。</p> <p>話し合いの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなを見て話している。 ・聞こえる声の大きさを話している。 ・速度に気を付けたり、間を空けたりしている。 ・身振りや表情を工夫している。 ・特に伝えたいことや、注目させる言葉(「実は」、「なんと」など)を強調して話している。 	<p>○本時まで、話し合いの5つの観点の中から課題を選ばせ、その課題をグループの友達に伝えてからプレゼンテーションをすることで、観点を絞って聞き手が聞けるようにする。</p> <p>○同じ事物や似た事物を選んだ児童でグループを編成することで、気付かなかったお薦めの仕方に気付くことができるようにしたり、アドバイスがしやすいようにしたりする。</p> <p>○互いにプレゼンテーションしているところをiPadで撮影し合い、話し合いのときに、話し手が客観的に振り返ることができるようにしておく。</p> <p>○評価用のワークシートを活用して、聞く観点を明確にし、一人一人が考えをもてるようにする。</p>

活動内容（1人7分）

話→話し手 聞→聞き手

①話 グループの友達に自分の課題を伝える。

②話 プレゼンテーションをする。

聞 ・課題を中心にワークシートに評価する。
(課題以外のところもできれば評価する。)
・iPad で撮影する。

③聞 ワークシートを基にアドバイスを伝える。

話 ・アドバイスを受け、原稿の工夫を書き
入れるところか、フリースペースに書
き加える。
・アドバイスを受けた部分を iPad で視聴
し、確認する。
・アドバイスを踏まえて、もう一度、そ
の部分を実演する。

(聞 iPad で撮影しておく。)

・どのように変わったか iPad で視聴し、
確認する。

聞 どのように変化したが伝える。



③を繰り返す

3 学習の振り返りをする。

- ・話し合いを通して、お薦めの気持ちがよりよく伝わってくるようになった人を発表し、その人のプレゼンテーションを全体で確認する。

5 次時の見通しをもつ。

○友達にアドバイスをすることが難しい児童に対しては、評価用のワークシートに沿って、感じたことや考えたことを伝えるように助言する。

○アドバイスを受けて、メモしておく必要があると感じることは原稿の空いているところに書き込むか、原稿の下にあるフリースペースに書き込むように伝える。

○時間に制限があるため、アドバイスを受けた部分だけ、もう一度プレゼンテーションするように助言する。

○iPad を使って撮影しておき、その様子を視聴することで、アドバイス前とアドバイス後の変化を話し手が実感できるようにする。

○聞き手は、アドバイス後にどのようにプレゼンテーションが良くなったか伝えるように助言する。

◇推薦したい気持ちが伝わるように、場に応じた適切な言葉遣いについて話し合い、話し方を工夫している。

【話・聞 イ】(観察・発言)

○iPad をテレビと接続し、アドバイスを受ける前のプレゼンテーションを全体で確認してから、全体の前でプレゼンテーションをしてもらうことで、話し合いを通して変化したことを称賛し、本時の目的が達成できたことを確認する。

○iPad でプレゼンテーションの様子を撮影しながら、それぞれにプレゼンテーションの練習をし、3年生への発表会に備えるように伝える。

(4) 参考文献・資料等

①参考文献

- 文部科学省(2010)「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」
- 国立教育政策研究所(2010)
「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校国語）」
- 水戸部修司 編(2014)「学習指導案パーフェクトガイド 5・6年」明治図書
- D-project 編集委員会(2014)「タブレット端末を活かす実践 52 事例」学研
- 水戸部修司監 浮田真弓編 浜松市積志小学校編(2012)
「『領域組み合わせ』で言葉の力を育てる！小学校国語言語活動ベストモデル」明治図書
- 水戸部修司 鯨井幹夫 編・著(2011)「国語科実践事例集（5年6年）」小学館
- 伊崎一夫 著(2011)「小学校国語科 学習指導案で授業が変わる！」日本標準
- 大越和孝 成家亘宏 藤田慶三 著(2010)
「『話すこと・聞くこと』の言語活動例の展開」東洋館出版
- 天野暢子 著(2010)「プレゼンはテレビに学べ」ディスカヴァー・トゥエンティワン

②映像資料

- NHK for school「伝える極意」 <http://www.nhk.or.jp/sougou/gokui/origin/list.html>

プレゼンテーション スターカード

5年 組

友達のプレゼンテーションを見て、アドバイスをしよう!



とても上手だね。



もう少しがんばろう。

速度に気を付けたり、間をあけたりしている。

みんなを見て話している。

聞こえる声の大きさを話している。

特に伝えたいことや、注目させる言葉（「実は」、「なんと」など）を強調して話している。

身振りや表情を工夫している。

